

験したHIV感染者の臨床病態. 第6回日本エイズ学会総会, 1992, 9, 名古屋.

- 12) 櫻川信男, 新谷憲治: アンチトロンビンⅢ異常症(富山)の解析. 第39回日本臨床病理学会総会(シンポジウム), 1992, 10, 長崎.
- 13) 田沢滋樹, 早川由美子, 小池千里, 石川泰一, 新谷憲治, 櫻川信男: ヘパリンによる内因性bFGFを介した血管内皮細胞増殖促進作用. 第39回日本臨床病理学会総会, 1992, 10, 長崎.
- 14) 櫻川信男, 新谷憲治, 林 朋博, 小池千里, 辻 肇, 増田治史, 中川 克, 中川雅夫: Arg393-His (CGT-CAT) 置換を示すアンチトロンビンⅢ異常症「青森」. 第34回日本臨床血液学会総会, 1992, 11, 大阪.
- 15) 新谷憲治, 小池千里, 櫻川信男, 塩崎有宏: β -2 グリコプロテイン1の接触相を介する凝固・線溶活性に対する抑制作用. 第34回日本臨床血液学会総会, 1992, 11, 大阪.
- 16) 新谷憲治, 石川泰一, 田沢滋樹, 早川由美子, 小池千里, 新保雅宏, 櫻川信男: 白血病細胞株PL-21でのフォルボールエステルとcAMPによる相乗的プラスミノゲン・アクチベター・インヒビター2 mRNA誘導作用. 第15回日本血栓止血学会総会, 1992, 11, 奈良.
- 17) 増田治史, 辻 肇, 中川雅夫, 新谷憲治, 櫻川信男: 先天性antithrombinⅢ欠損症及び異常症の遺伝子解析. 第15回日本分子生物学会年会, 1992, 12, 京都.

◆ その他

- 1) 櫻川信男: 阻害因子と血管内皮アンチトロンビンⅢとプロテオグリカンに関する研究. 重点領域研究「血栓性素因の分子生物学的解析とその臨床応用」実統報告集(1988-1990), 129-133, 1991.
- 2) 櫻川信男: Subcommittee on Predictive Haemostatic Variables in Vascular Diseases. 1991年度国際血栓止血学会, SSC報告集, 179-189, 1992.
- 3) 櫻川信男: 櫻友会(富山血友病患者「友の会」)の一年. 平成3年度HIV感染者等保健福祉相談推進研究事業, 1-11, 1992.

放射線基礎医学

教授	本 田 昂
助教授	二 谷 立 介
教務員	前 田 正 敏

◆ 研究概要

- 1) 放射性標識化合物の代謝並びに動態に関する研究—主として腫瘍親和性をもつ放射性薬物の開発とその生体内動態の検索, 病巣部位の診断及び治療に関する基礎的研究である. アイソトープ標識化合物の合成にはじまり培養細胞に対する集積を検討しさらに動物体内における動態を検索している。
- 2) 環境放射能と防護に関する研究—体内の放射性物質の除去剤の開発を目指すもので, 種々のキレート化合物を中心とした薬物の合成にとりくみ細胞及び動物レベルでの放射性物質の挙動に及ぼす影響を研究している。
- 3) 細胞に対する放射線障害と修復に関する研究—培養細胞を用い放射線照射後に生じた遺伝子損傷と細胞生存率の関係を明らかにし, そのメカニズムを実験的に裏付ける研究を行っている。また低線量放射線の人体への影響に関する疫学的研究, 放射線発癌に関する研究にとりくんでいる。
- 4) 強力磁場の生体に及ぼす影響に関する研究—現在MRIが広く行われているが生体に及ぼす影響についてはほとんど解明されていない。強力磁場における生理学的変化について培養細胞を用いて検討する。

◆ 原 著

- 1) 本田 昂, 岡本政広, 前田正敏, 川腰利之, 山下 巖, 二本松博子, 吉田真佐人, 田沢賢次, 藤巻雅夫: MFGM(牛乳脂肪球被膜)を用いたDDS研究—インスリン含有MFGMエマルジョンの腸管吸収—. DDS 7(1): 43-46, 1992
- 2) K. Tazawa, T. Kawagoshi, I. Yamashita, M. Okamoto, M. Fujimaki, H. Ochiai, M. Maeda and T. Honda: Inhibitory effect of Lentinan entrapped in liposomes on pulmonary metastasis in rats. Distribution of liposomes and enhancement of NK cell activity. J. Exp. Clin. Cancer Res. 11(1): 21-28, 1992
- 3) 中沢 俊, 山下憲昭, 黒田豊志, 新井五輪生, 中原由紀子, 成毛 駿, 西本克侑, 猪俣訓一, 本田 昂, 佐久間伸一, 木村智憲: Tocoretinateの体内動態(第2報)ラットにおける¹⁴C-Tocoretin

ateの分布. 応用薬理 43 (3): 211-219, 1992

- 4) 前田正敏, 二本松博子, 川腰利之, 庄司美樹, 本田 昂: ^{111}In , ^{125}I 標識モノクローナル抗体17-1Aのヒト膵臓癌HuP-T4担癌マウスにおける体内動態. RADIOISOTOPES 41(6): 308-315, 1992.
 - 5) 川西孝和, 唐木芳昭, 佐伯俊雄, 藤巻雅夫, 前田正敏, 二本松博子, 本田 昂: ^{111}In 標識活性炭の開発とダブルアイソトープ法による乳腺リンパ流の解析. DDS 7(5): 373-380, 1992
 - 6) Hikaru Seto, Shiro Tsuji, Naoto Watanabe, Ryusuke Futatsuya, Kuninori Nomura, Masatoshi Maeda and Masao Kakishita: Biodistribution of Intravenously Injected [^{111}In] Lipiodol in Rats. Radiation Medicine 10(5): 196-198, 1992
 - 7) 田沢賢次, 山下 巖, 大上英夫, 岡本政広, 勝山新弥, 黒木嘉人, 山本克弥, 竹森 繁, 新井英樹, 山田 明, 坂本 隆, 前田正敏, 本田 昂, 藤巻雅夫: AOM誘発大腸腫瘍発現と大腸粘膜及び門脈中のPGE2含有量の変化. 消化器癌の発生と進展. 4: 61-64, 1992
 - 8) 唐木芳昭, 岡本政広, 柚木 透, 齊藤智裕, 齊藤光和, 沢田石勝, 榊原年宏, 籠 耕平, 藤巻雅夫, 前田正敏, 本田 昂: マストミス胃カルチノイドにおけるガストリンレセプター. 消化器癌の発生と進展. 4: 299-301, 1992
 - 9) Kawanishi T., Karaki Y., Maeda M., Saeki T., Fujimaki M., Seto H. and Honda T.: Development of In-111 labeled activated carbon microspheres and analysis on mammary lymph flow by double isotope method. Metal Ions in Biology and Medicine 2: 199-200, 1992
- ◆ 学会報告
- 1) Maeda M., Nihonmatsu H., Kawagoshi T., Shoji M., and Honda T.: Distribution of ^{111}In - and ^{125}I -labeled monoclonal antibody 17-1A in mice bearing xenografts of human pancreatic carcinoma HuP-T4. Fourth Conference on Radio-immunodetection and Radioimmunotherapy of Cancer, 1992, 9, Princeton, New Jersey.
 - 2) 前田正敏, 二本松博子, 川腰利之, 庄司美樹, 本田 昂: ^{111}In , ^{125}I 標識モノクローナル抗体17-1Aのヒト膵臓癌HuP-T4担癌マウスにおける体内動態. 第32回日本核医学会総会, 1992, 9, 横浜.
 - 3) Tazawa K., Takemori S., Nagae H., Shimizu T., Kato H., Okamoto M., Masuko Y., Maeda M., Honda T. and Fujimaki M.: A study of inductive heating for cancer with use of Dextran Magnetite (DM): characteristics of Dextran Magnetite. The 6th International Congress on Hyperthermic Oncology, 1992, 4, Tucson, U.S.A.
 - 4) 田沢賢次, 山下 巖, 大上英夫, 岡本政広, 勝山新弥, 黒木嘉人, 山本克弥, 竹森 繁, 新井英樹, 山田 明, 坂本 隆, 藤巻雅夫, 前田正敏, 本田 昂: AOM誘発大腸腫瘍発現と大腸粘膜および門脈中のPGE2含有量の変化. 第4回日本消化器癌発生研究会, 1992, 9, 金沢.
 - 5) 田沢賢次, 勝山新弥, 岡本政広, 柚木 透, 齊藤智裕, 森永秀夫, 藤巻雅夫, 川腰利之, 本田 昂, 坂本憲市: 肝転移に対する生体の免疫能の影響(第2報) -特に肝転移モデルにおけるマイトマイシンC (MMC), OK-432の免疫能に与える影響と肝転移の関係-. 第51回日本癌学会総会, 1992, 9, 大阪.
 - 6) Takemori S., Tazawa K., Nagae H., Shimizu T., Kato H., Okamoto M., Masuko Y., Maeda M., Honda T. and Fujimaki M.: A study of inductive heating for cancer with use of Dextran Magnetite (DM): effects for cancer cells of animals. The 6th International Congress on Hyperthermic Oncology, 1992, 4, Tucson, U.S.A.
 - 7) 竹森 繁, 田沢賢次, 長江英夫, 清水哲朗, 増子 洋, 齊藤智裕, 前田正敏, 本田 昂, 藤巻雅夫: 深部加温法としてのDextran Magnetiteを用いるInductive Heating. 日本ハイパーサーミア学会第9回大会, 1992, 9, 金沢.
 - 8) 竹森 繁, 田沢賢次, 長江英夫, 清水哲朗, 増子 洋, 岡本政広, 前田正敏, 本田 昂, 藤巻雅夫: デキストラン・マグネタイト封入体を用いた癌温熱療法の試み. 第51回日本癌学会総会, 1992, 9, 大阪.
 - 9) Takemori S., Tazawa K., Nagae H., Yamashita I., Okamoto M., Maeda M., Honda T. and Fujimaki M.: Inductive heating with use of Dextran Magnetite-Hyperthermia for deep seated tumor and canalicular organ tumor. Hyperthermic Oncology in Japan '91 303-304, Shinohara Publishers Inc., Tokyo, 1992 (summary paper).
 - 10) 勝山新弥, 田沢賢次, 岡本政広, 柚木 透, 森永秀夫, 齊藤智裕, 山本克弥, 竹森 繁, 新井英樹, 笠木徳三, 藤巻雅夫, 川腰利之, 本田 昂, 坂本憲市: 肝転移に対する生体の免疫能の影響-

特に肝転移モデルにおけるマイトマイシンC (MMC) とOK-432の免疫能に与える影響と肝転移の関係。第13回癌免疫外科研究会, 1992, 5, 東京。

- 11) 川西孝和, 唐木芳昭, 前田正敏, 佐伯俊雄, 藤巻雅夫, 本田 昂, 瀬戸 光: ^{111}In 標識活性炭の開発とDouble Isotope法による乳腺リンパ流の解析. 第92回日本外科学会総会, 1992, 3, 東京。
- 12) Kawanishi T., Karaki Y., Maeda M., Saeki T., Fujimaki M., Seto H. and Honda T.: Development of In-111 labeled activated carbon microspheres and analysis on mammary lymph flow by double isotope method. The 2nd International Symposium of Metal Ions in Biology and Medicine, 1992, 5, Loutraki, Greece.